

NTT西日本グループのサステナビリティ活動

NTT西日本グループは、“「つなぐ」その先に「ひらく」あたらしい世界のトビラを”とパーパスを掲げ、ICTを活用して、さまざまな社会課題の解決に貢献することで、持続可能な社会の実現をめざしています。代表的な取り組みをご紹介します。

NTT西日本グループが取り組む3つのサステナビリティテーマ

「自然(地球)」との共生

社会が脱炭素化
している未来へ

資源が循環
している未来へ

人と自然が
寄り添う未来へ

「文化(集団・社会～国)」の共栄

倫理規範の
確立と共有

デジタルの力で
新たな未来を

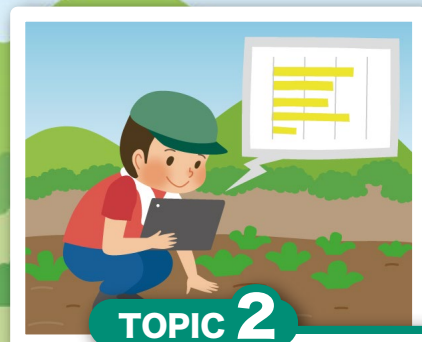
安心・安全で
レジリエントな社会へ

「Well-being(幸せ)」の最大化

人権尊重

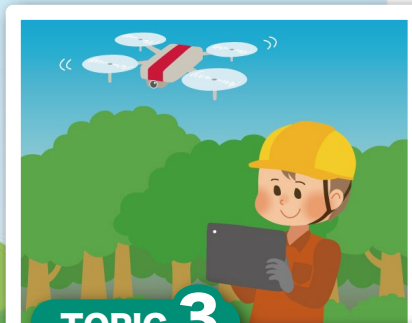
Diversity &
Inclusion

新しい働き方・
職場づくり



TOPIC 2

ネイチャーポジティブな
循環共生型食料システム



TOPIC 3

森林・林業DXによる
カーボンニュートラルの実現



TOPIC 1

地域食品循環ソリューションの
自治体展開



TOPIC 4

ICTを活用した
地域活性化の取り組み



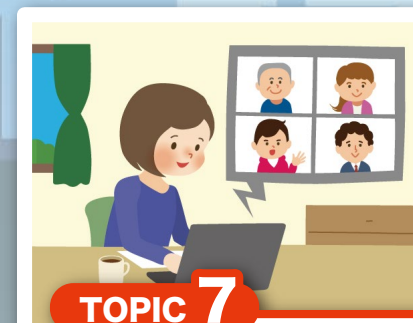
TOPIC 5

光サービスの拡大



TOPIC 6

安定した通信サービス提供に
向けた取り組み



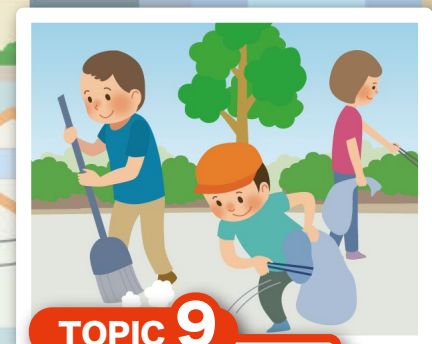
TOPIC 7

一人ひとりが望む働き方の実現



TOPIC 8

障がい者雇用促進に向けた取り組み
(DX推進と障がい者雇用促進トライアル)



TOPIC 9

社会貢献活動の推進

「自然(地球)」との共生

TOPIC 1

地域食品循環ソリューションの自治体展開

廃棄物増加や温室効果ガス発生、処分コスト増大等の問題を抱える食品ロスの削減に向け、NTT西日本グループは、食品残渣を堆肥として野菜生産に活用する食品循環ソリューションを展開しています。香川県丸亀市の給食センターへの導入はその代表例で、食品残渣発酵分解装置で発生させた一次発酵物を回収、リサイクルセンターにて堆肥化し、土壌改良剤として有機野菜農家に提供することで食品資源循環をめざします。一連の手法により大幅なCO₂排出量削減、運送・焼却コストの削減が見込め、環境負荷の低減と関連事業者の負担軽減に寄与します。



丸亀市給食センターに設置した食品残渣発酵分解装置

TOPIC 2

ネイチャーポジティブな循環共生型食料システム

化学肥料・農薬を用いる従来型農業は土壌劣化等の問題を孕んでおり、土壌を修復・改善しつつ自然環境の再生を促す「環境再生産型農業」への期待が高まっています。NTT西日本は、自然(地球)と共生した未来に向け、事業共創により土壌微生物の解析とデジタルデータの研究を開始し、高品質の作物を栽培できる土壌条件の解明や環境負荷の定量化等をめざしています。

また、オープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」の未来共創プログラムで、農業従事者を悩ませる諸問題の解消に寄与する次世代型農業支援サービスの事業化にも取り組み、100年間つづく循環共生型の社会をめざしています。



TOPIC 3

森林・林業DXによるカーボンニュートラルの実現

日本には豊かな森林資源があり、これらは防災や生物多様性の保全等、多面的な機能を発揮しています。しかし、後継者不足や山林の価値が高まらないため、所有者によって適切な管理がなされず、森林本来の機能が損なわれつつある等、さまざまな課題を抱えています。NTT西日本・地域創生Coデザイン研究所は、パートナーの皆さまとともにデジタル技術を活用した森林情報の計測・デジタル化による森林管理の効率化や、地域の情報を重ね合わせ新しい価値を創造する森林・林業DXによって、地域の脱炭素化、地域企業のカーボンオフセットの実現によりカーボンニュートラル社会に貢献していきます。



「文化(集団・社会～国)」の共栄

TOPIC 4

ICTを活用した地域活性化の取り組み

NTT西日本グループは、お客さまや地域社会に寄り添い、ICTを活用した経営課題の解決、社会や産業のDXの実現に取り組んでいます。NTT西日本グループが持つネットワークやサービスを最大限に活用し、自治体や企業等との共創によるプロジェクトを30府県で展開しています。例えば、岡山県内の小中学校ではVRによる狂言の学校巡回公演の実施、交通安全教育ではVRを活用した体験型学習を取り入れる等、ICTを活用した社会課題の解決を図っています。今後も、NTT西日本グループは、生活者に寄り添うプロジェクトを展開し、持続可能で自律的な地域社会の実現に寄与していきます。



TOPIC 5

光サービスの拡大

NTT西日本グループの光アクセスサービスは2001年の提供開始以来、高速・大容量のインターネットアクセス回線をはじめとした多様な用途で利用され、今では西日本エリアで1,000万を超えるお客さまの暮らしやビジネスを支えています。今後は、関連事業者やパートナーの皆さまとの連携を強化しつつ、高速・大容量データ通信を可能にする新たな高速光アクセスサービス「フレッツ光クロス」の拡大、お客さまの課題解決に向けた商材やしくみの発掘・提供等を図っていきます。そのうえで光サービス基盤を強化し、さらなる光サービスの拡大をめざします。



TOPIC 6

安定した通信サービス提供に向けた取り組み

お客さまがいつでも、どこでも安心してインターネットや電話等の通信サービスをお使いただけるよう、信頼性の高い通信ネットワークの構築に取り組んでいます。NTT西日本では、24時間365日、通信サービスを監視するネットワークオペレーションセンターにて、リアルタイムに通信サービスの状況を一元的に監視・制御するとともに、予期せぬトラブルが発生した際にも迅速かつ確に回復措置がとれるよう努めています。また、障害検知から復旧の自動化等、ICT活用によるプロアクティブな運用をめざしていきます。



「Well-being(幸せ)」の最大化

TOPIC 7

一人ひとりが望む働き方の実現

NTT西日本グループは、社員一人ひとりが持てる能力や考えを活かし、自律的なチャレンジを続けることが重要との考えの下、多様な働き方を実現し得る改革に取り組んでいます。2022年7月からは、新たに日本全国どこからでもリモートワークで働くことを可能とする制度(リモートスタンダード)を導入し、ワークインライフ(健康経営)を推進するとともに、転勤や単身赴任を伴わない働き方を拡大しています。

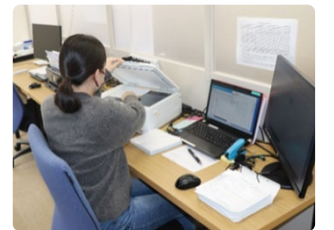
また、社員の自己研鑽と既存業務における付加価値の創出を目的に、現業を継続しながら新たなフィールドでチャレンジできる「社内ダブルワーク」制度も推進しています。



TOPIC 8

障がい者雇用促進に向けた取り組み(DX推進と障がい者雇用促進トライアル)

多くの企業が人手不足に悩まされる一方、働きたいと望む障がい者は十分な就労機会を得られていません。そうした実情を踏まえ、NTT西日本 大分支店は、企業から切り出した業務を障がい者が担うことで、企業のDXを後押しするトライアルを県内企業とともに実施しました。本実証では、精神障がいをお持ちの方に企業保有の紙書類のスキャンと情報のタグ付け、クラウドへのアップロードを実施いただき、業務品質を検証しました。得られた知見を基に、事業協同組合の設立を進め、企業のDXと障がい者の就労機会拡大に寄与していきます。



TOPIC 9

社会貢献活動の推進

NTT西日本グループでは、各地域の清掃活動を実施しています。清掃活動は、各エリア単位で企画し、西日本エリア全体で約4,500名の社員とその家族が参加しました。また、NTT西日本グループの各支店において、会社にある備蓄品をフードバンク等へ寄贈する支援をしています。さらに、社員が家庭にある食品等を持ち寄り、NPO等へ寄贈する「フードドライブ」についても、社員とその家族の支援により活動の幅を広げています。

(上) フードドライブ活動の様子(宮崎支店)
(下) 清掃活動の様子(北陸支店)

